

The New York Hideyo Noguchi Memorial Society, Inc.
100 Park Avenue, Suite 1600, New York, NY 10598

ロックフェラー大学で研究を続ける伊藤慶一博士が受賞

第4回「ニューヨーク野口英世記念奨学金」

野口英世 94 回忌墓前祭式典で授与

2021 年 5 月 21 日 ウッドローン墓地にて

日本が生んだ国際的細菌学者である野口英世博士の功績をたたえ、博士の遺徳を後世に伝え、その墓碑を守り、米国で医学の道を志す若き日本人研究者の応援を目的に 2013 年に設立された「ニューヨーク野口英世記念会」(NPO=本部：ニューヨーク市)は、5 月 21 日 NY ブロンクスのウッドローン墓地において野口英世 94 回忌墓前祭を開催し、式典の中で第 4 回ニューヨーク野口英世記念奨学金受賞者の発表と授与を行った。

ニューヨーク野口英世記念奨学金(以下、「NY 野口奨学金」)の審査委員会は、野口英世博士の墓碑に刻まれた「科学への献身を通し、人類のために生き、人のために死す」との教訓と志を受け継ぐ若き研究者が相応しいとの観点から受賞者を選出したと授賞の理由を述べている。

審査によって選ばれた第 4 回受賞者の名前は伊藤 慶一さん。伊藤さんは米国メリーランド州生まれの東京育ち。2008 年東京大学理科二類を卒業、2010 年東京大学院修士過程で新領域創生科学研究科メディカルゲノムを専攻し 2010 年終了。2010 年からは、東京大学院医科学研究所にて幹細胞治療分野の研究を深め、2013 年生命科学博士号を取得。その後 2014 年に渡米。同年 11 月からロックフェラー大学に在籍し、今日迄、脂肪組織および骨格筋組織の機能を司る遺伝子発現制御機構を明らかにすることで生体のエネルギー代謝をコントロールするメカニズムの研究に打ち込んでいる。

伊藤さんは 24 歳で単身アメリカへ渡り、人類のために科学の道に献身し命を懸けた野口英世の生涯を彷彿とさせる有望な日本人の若き研究者で、野口英世記念奨学金審査委員の間でも高い評価を受け、その研究成果には、将来の大きな期待が寄せられている。